

2024年11月6日

各位

会社名 オムロン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 辻永 順太  
コード番号 6645  
上場取引所 東証プライム市場  
問合せ先 シェアホルダーエンゲージメント部長  
池田 育利  
TEL 075-344-7048

## 剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日（2024年11月6日）開催の取締役会において、2024年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および2025年3月期の期末配当予想の修正について下記のとおり決議しましたので、お知らせします。

## 記

## 1. 剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年5月8日公表)	前期実績 (2024年3月期中間配当)
基準日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株当たり配当金	52円00銭	-	52円00銭
配当金の総額	10,266百万円	-	10,267百万円
効力発生日	2024年12月3日	-	2023年12月4日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

## 2. 期末配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2024年5月8日発表)	-	-	104円00銭
今回修正予想	-	52円00銭	104円00銭
当期実績 (2025年3月期)	52円00銭	-	-
前期実績 (2024年3月期)	52円00銭	52円00銭	104円00銭

### 3. 理由

当社のキャッシュアロケーションポリシーおよび株主還元方針に沿って、年間配当予想は期初予想の 104 円から変更していません。また、中間配当および期末配当予想は、それぞれ年間配当予想の半額の 52 円（ともに前期と同額）としました。

#### <キャッシュアロケーションポリシー>

- ①長期ビジョンの実現による企業価値の最大化を目指し、中長期視点で新たな価値を創造するための投資を優先します。ただし、2024 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日までの「構造改革期間」は、全社のリソースを集中して構造改革プログラム「NEXT2025」に取り組み、「業績の立て直し」と「収益・成長基盤の再構築」を実現するために必要な投資を最優先で実行します。その上で、安定的・継続的な株主還元を実行していきます。
- ②これら価値創造のための投資や株主還元の原資は内部留保や持続的に創出する営業キャッシュフローを基本とし、必要に応じて適切な資金調達手段を講じて充当します。なお、金融情勢によらず資金調達が可能とするため、引き続き財務健全性の維持に努めます。

#### <株主還元方針>

- ①中長期視点での価値創造に必要な投資を優先した上で、毎年配当金については、「株主資本配当率（DOE）3%程度」を基準とします。そのうえで、過去の配当実績も勘案して、安定的・継続的な株主還元を努めます。
- ②上記の投資と利益配分を実施したうえで、さらに長期にわたり留保された余剰資金については、機動的に自己株式の買入れなどを行い、株主の皆さまに還元していきます。

以上